

旧居留地の立地

旧居留地はユニークな歴史、独特のエネルギーを持つ地域です。変化の激しい世界、経済の中に旧居留地はどの方向に発展するでしょう。

■神戸のSOHO：マンハッタンのSOHOと同じく、物作りや商売を中心に計画された地域です。現実性、経済力を見せるために建物が造られたはずですが、しかし、現在の私たちには上品さ、美術、永遠の男のロマンを感じます。

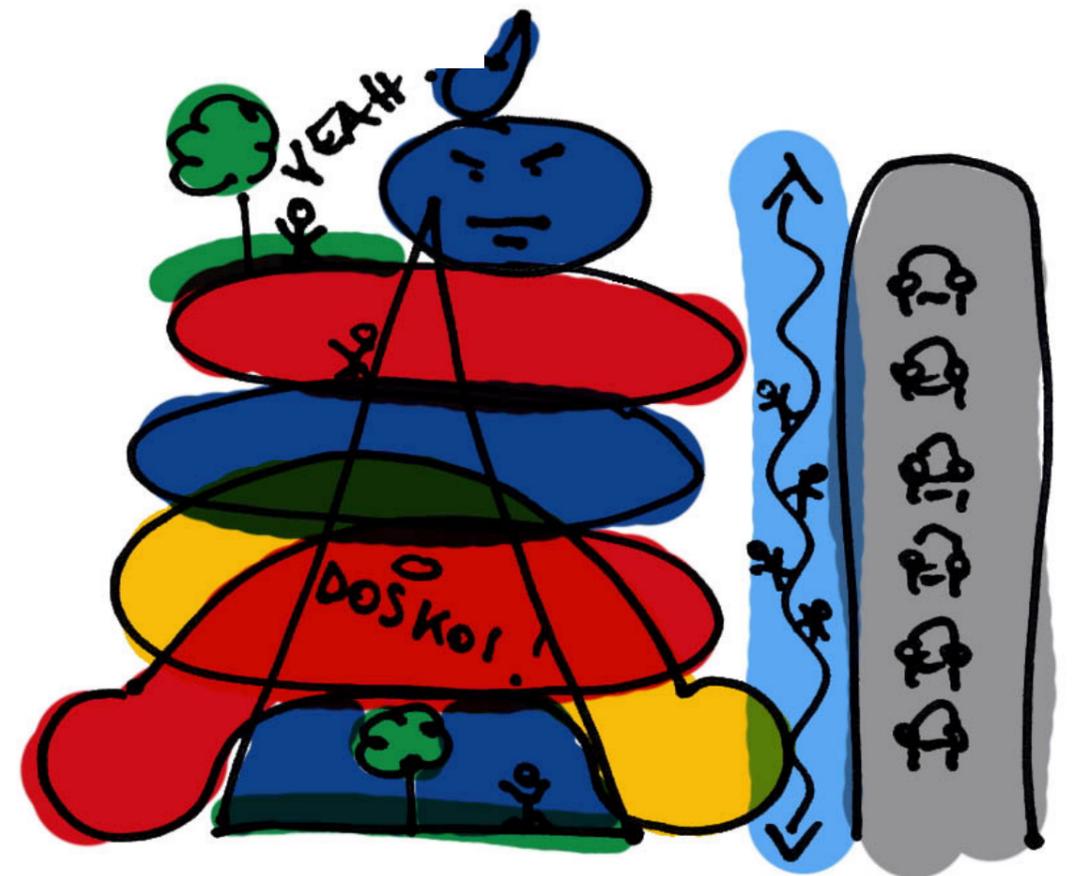
神戸市立博物館、ランプミュージアム、様々なアートギャラリーもあって、やはりSOHOには、アートが似合いますね。

■文化交流：港町である一番大切な役割は交流ですね。物の物流はもちろん、その上は遠い国の人と出会える町、新しいアイデア、違った文化とふれあえる町です。港町で経験できる文化交流は、ガラス箱の中にある文化ではないです。今後も、旧居留地で現代的な文化、生き生きしているアイデア、デザインを交換できる場所は必要です。

■ミックスジュース：コンパクトシティである旧居留地にはオフィスビル、銀行、百貨店、ブランドショップ、レストランはたくさんあります。最近では近隣周辺のタワーマンションの建設により、旧居留地に住んでいる人も増えています。新しい建物の収益を安定させるため、エンドユーザーの心をつかめるために、複数の施設を取り込むことによってバランスを保ちます。

■エコもちろん：私たちの惑星、私たちの未来を守るのは常識です。新しい建物にはパッシブソーラー、屋上緑化、省エネに取り組んだ設計とします。

■使いやすい：エスカレーターを置くことによって、上のフロアに人が流れやすくなります。立体駐車場も完備しているので、地元の方はもちろんのこと遠方の方にもアクセスしやすくなります。



用途・立体イメージ



中庭 (1階)

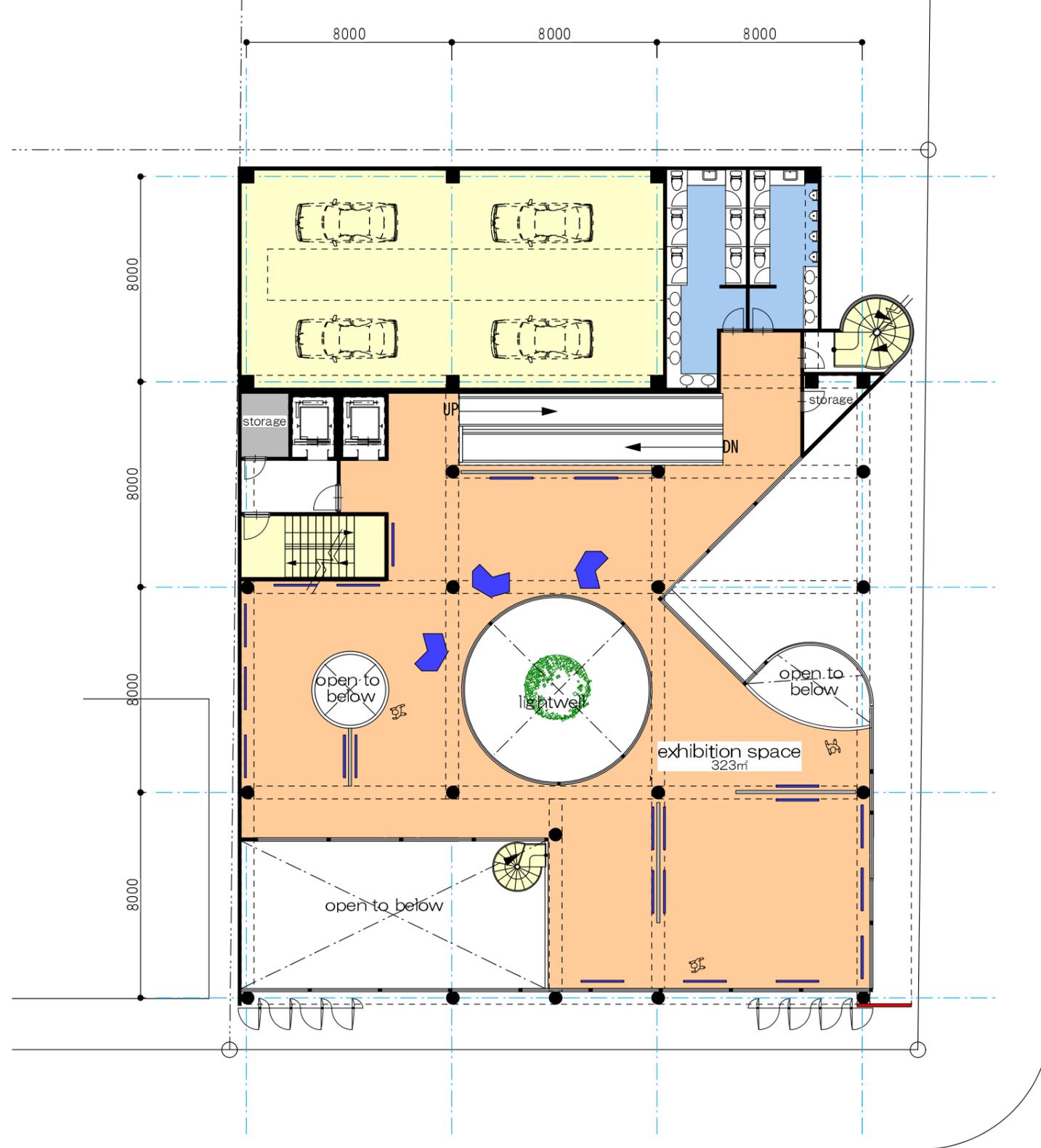
ロビーの吹き抜けスペースに中木を植えることで、グリーンスクエアを設けます。印象的な吹き抜け空間内に緑が上の方へ伸びて親しみのわく自然な環境になります。または、外部からの視認性も高く、特に夜間は外観を際立たせるポイントになってくれます。



展示スペース・多目的スペース

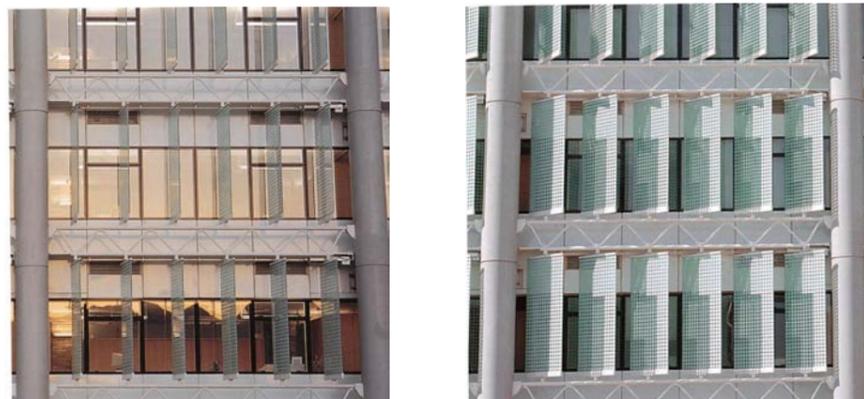
アート、クラフトを身近に感じるとともに、自分の作品も手掛けるきっかけになります。最近、アマチュアアーティストの展示できるスペースが注目されています。

この中2階は、下のレベルと数箇所吹き抜けになっています。1階のアートスペースの延長として使いやすいです。様々なイベントが催され、生き生きとみんなが文化を発信して、様々な人と意見交換をしたり、出会える場所です。

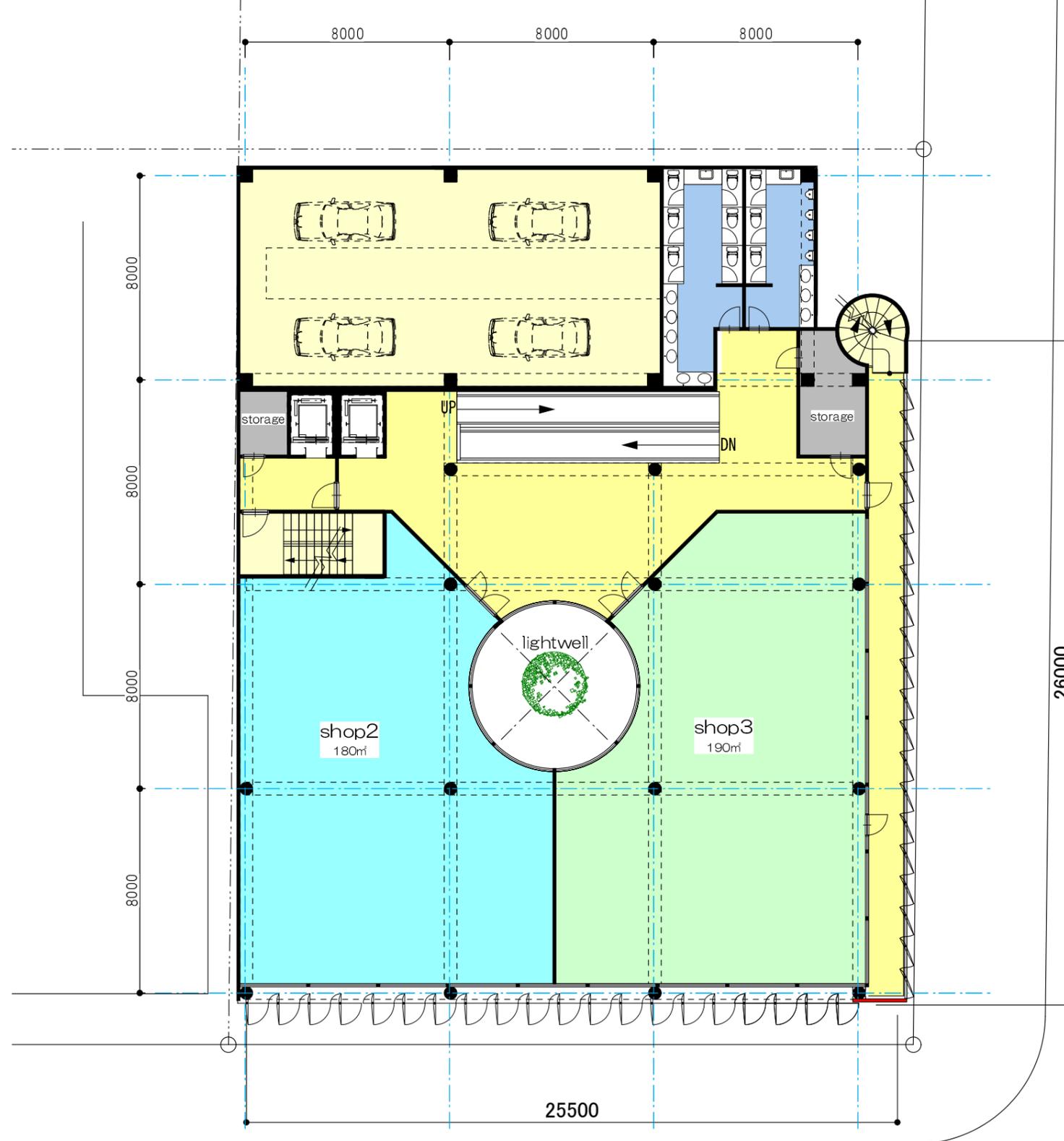


2F plan (mezzanine floor)

SC= 1:100



ブリーズソレイユは、一般的に日避けという意味ですが、この建物に付属するブリーズソレイユは多面性を持ったエレメントです。
 やさしい乳白色のFRPが、強い日差しを和らげ、開閉することで室内の通風を調節することもできます。
 また、夜間はカーテンの役割を果たしてくれますから、室内のプライバシーが守られますし、ダブルスキン効果で断熱性を高めてくれる、画期的なアイテムです。
 意匠性では、暗がりになると照明の光が建物全体を行灯のようにも見せてくれます。



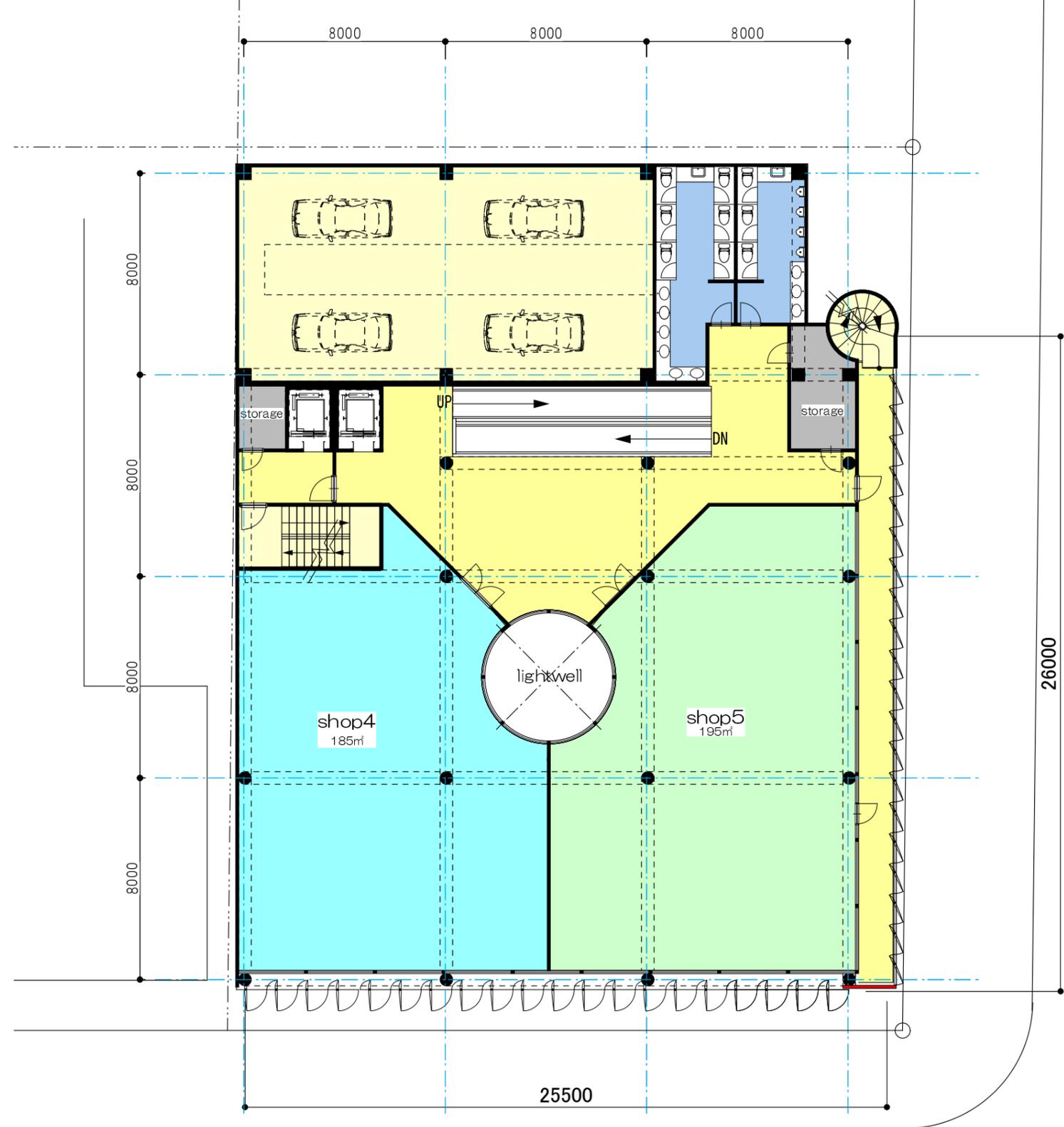
3階平面図

SC= 1:100

SHOP (SCHOOL)

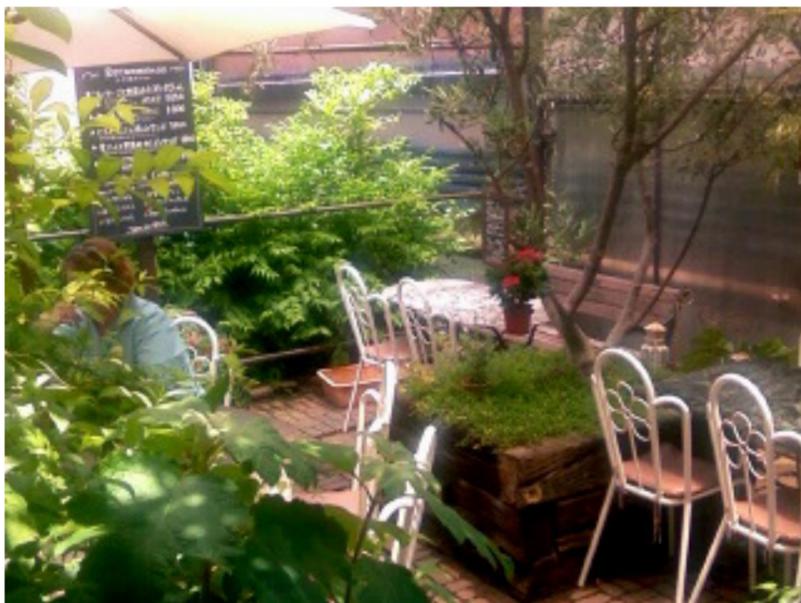
3階と4階のショップは、個性のあるものだったり、価値のあるものだったりする。

また、2フロアを併せて使用することも可能です。デザイン系の専門学校であったり、大学/企業のセミナールームとしても構成できます。

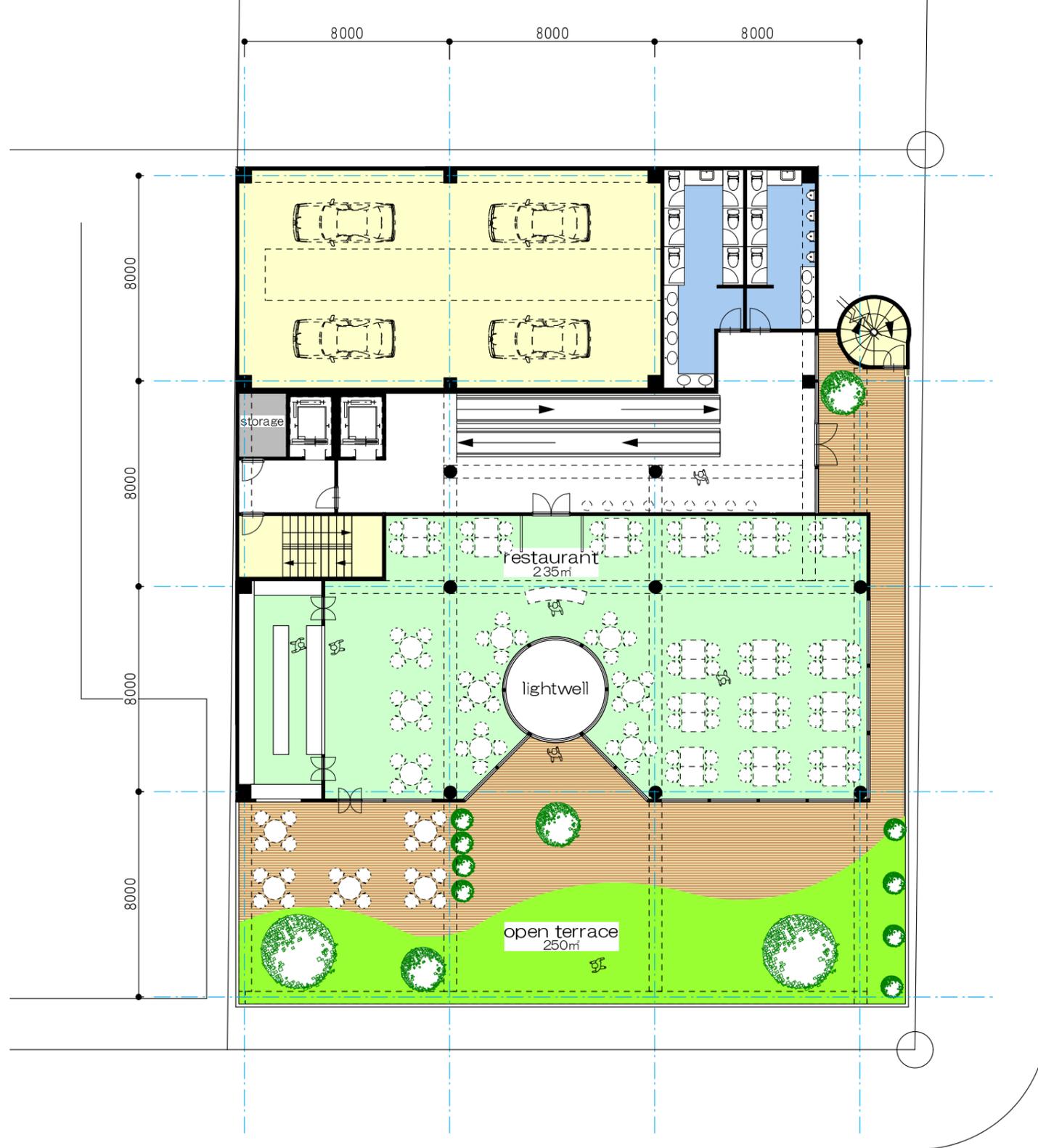


4階平面図

SC= 1:100

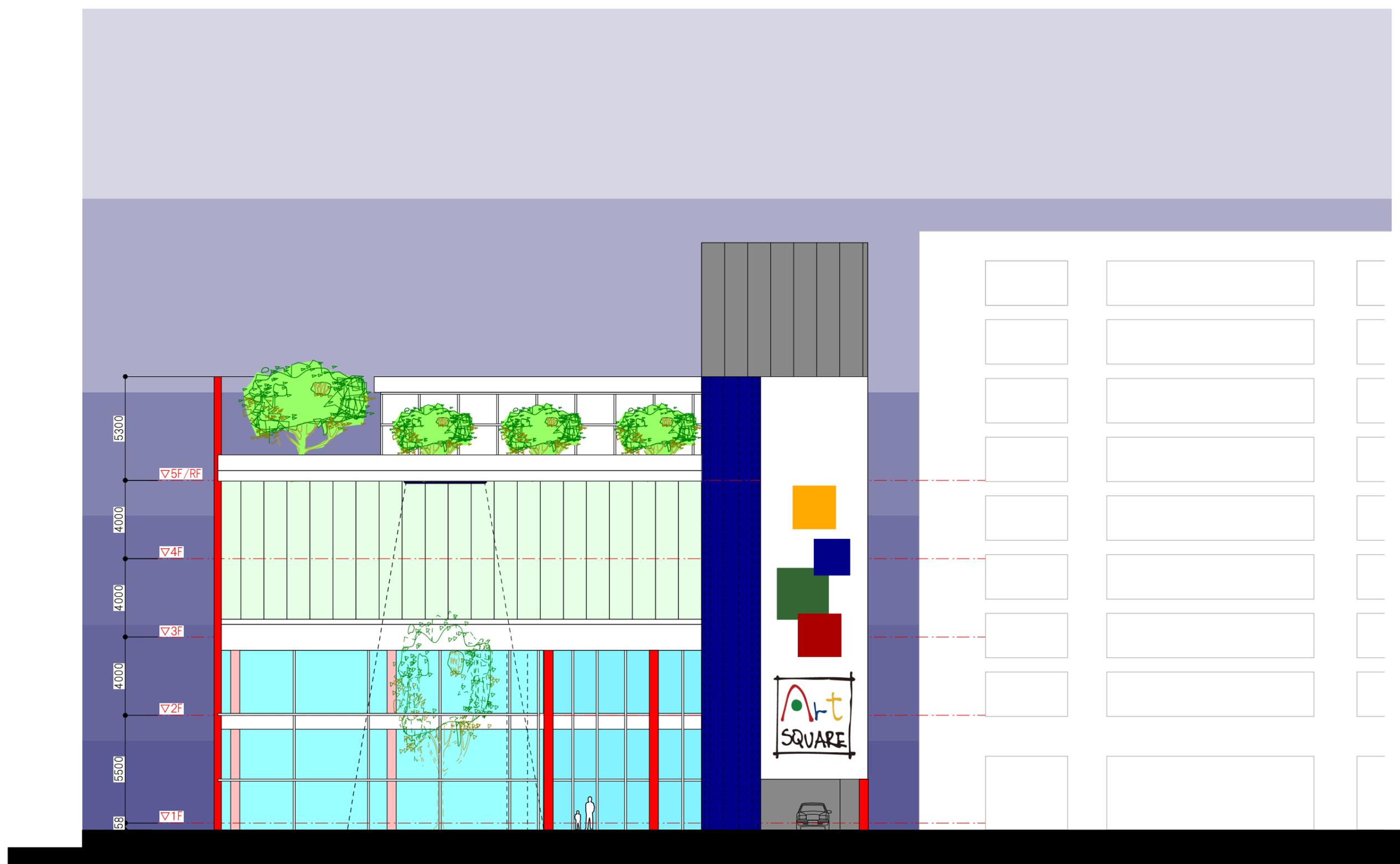


高速道路の先に海が見える屋上テラスでのランチ、カフェタイム、ディナーといった食事から、結婚式2次会、パーティー、披露などのスペースとしても良い場所です。
 広々とした屋上テラスには、様々な木々や草花を植えることで、下界の騒々しさから離れることが出来ます。
 室内には地元の人がゆっくり食事をし、テラスでは観光客が神戸の港町、旧居留地の建物を観ながらにぎやかに食事をしている感じがします。
 秋の夜長は、虫の鳴き声も聞こえる都心のプチ屋上テラス・カフェで。。。
 ガーデン・空・水のある空間です。



5F plan (penthouse)

SC= 1:100



east facade (kyomachi-suji side)

s c 1 : 200



south elevation (facing route 2)

s c 1 : 200



六本木・国立新美術館

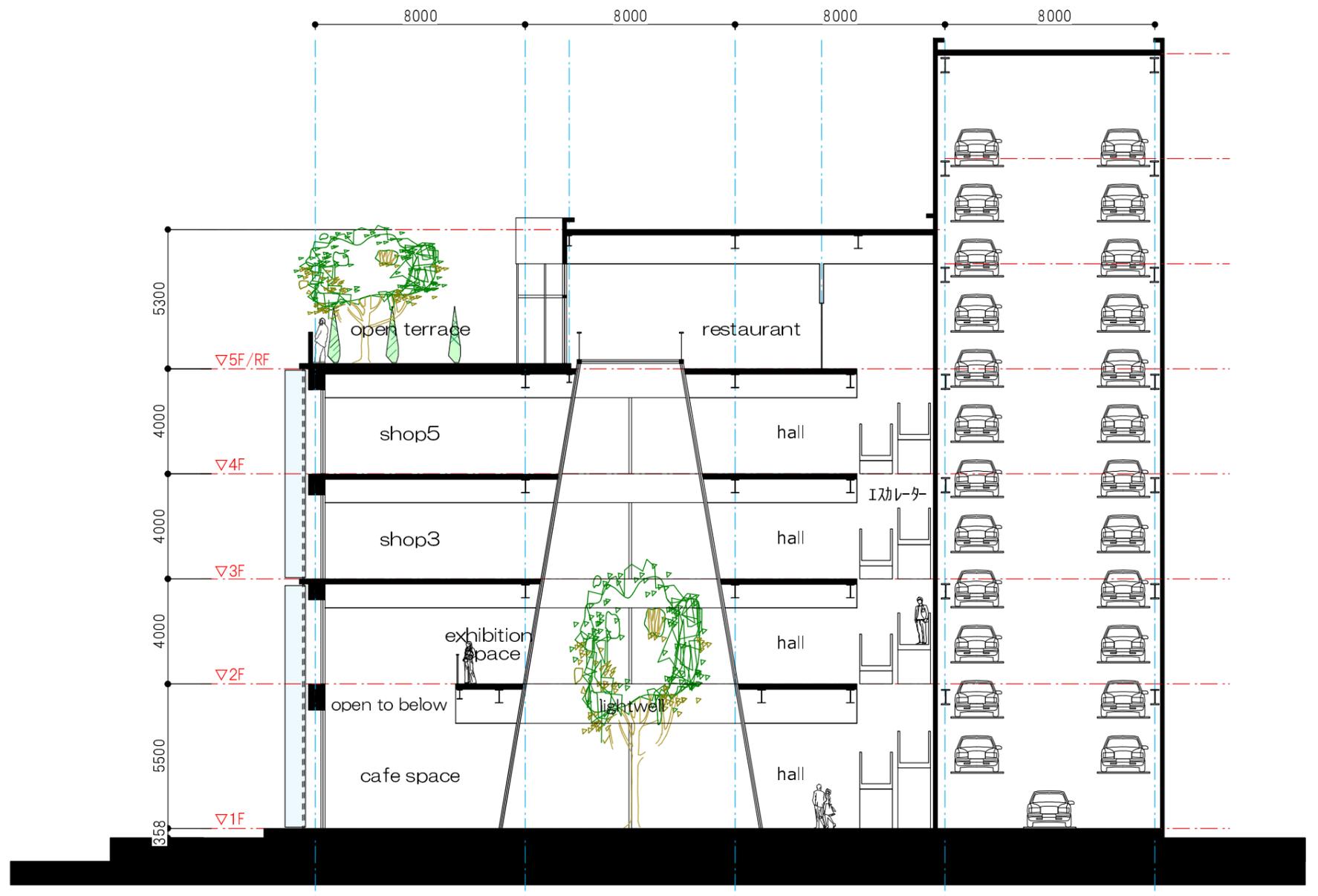


表三度・日本看護協会ビル

円錐トレンド

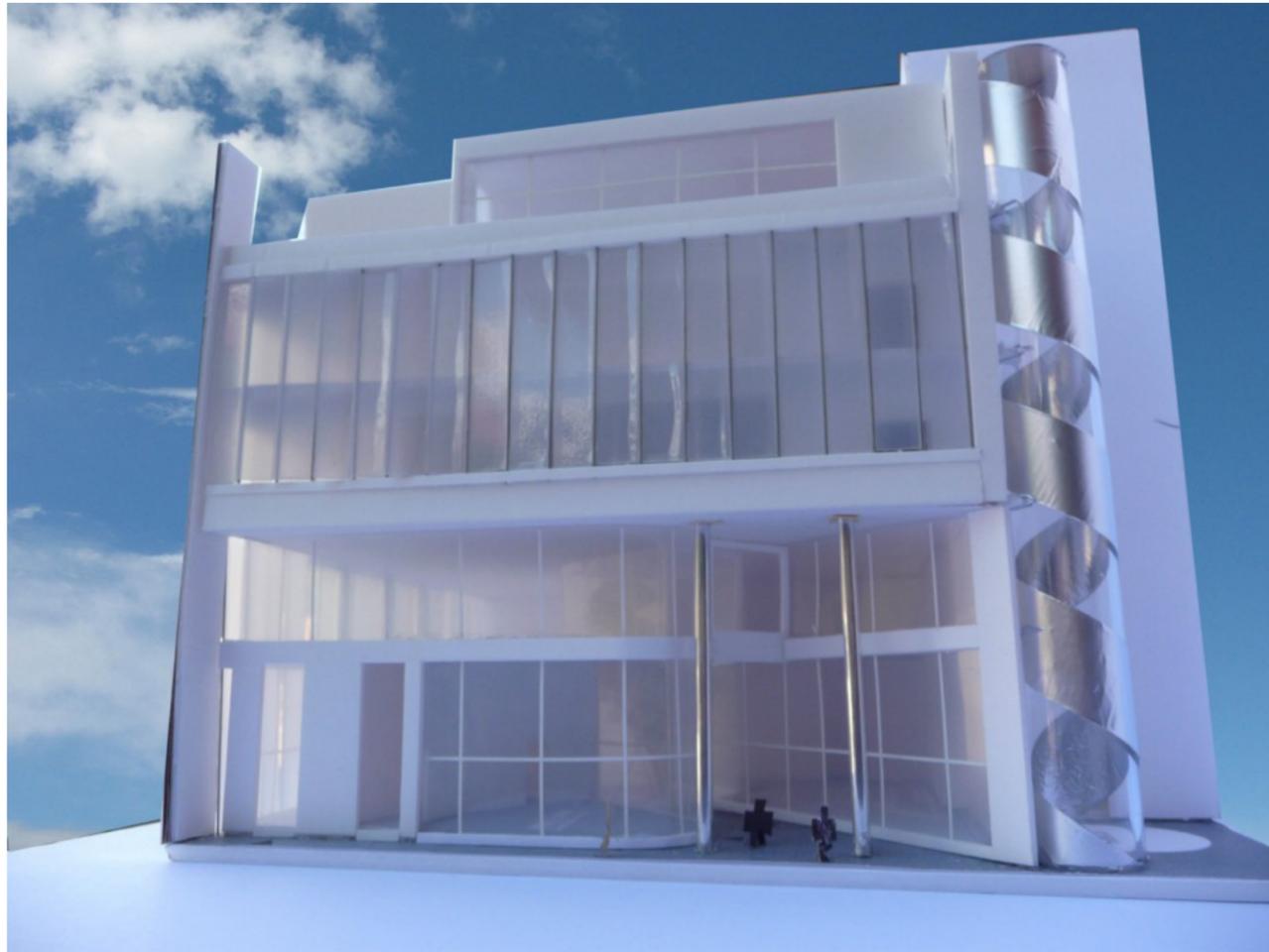
トレンドを追いかけることは良くないですが、空気を読むことは大事だと思います。

強大な円錐空間はとても印象的です。遠近感を感じさせられ、下から見上げると上部の階の姿が見えます。最上階から見下ろすと、吹き抜けの中、浮いている不思議な感じです。照明で縦型の線を目立たせても、スパイラルの曲線を演出しても、空間に変化を作りだします。

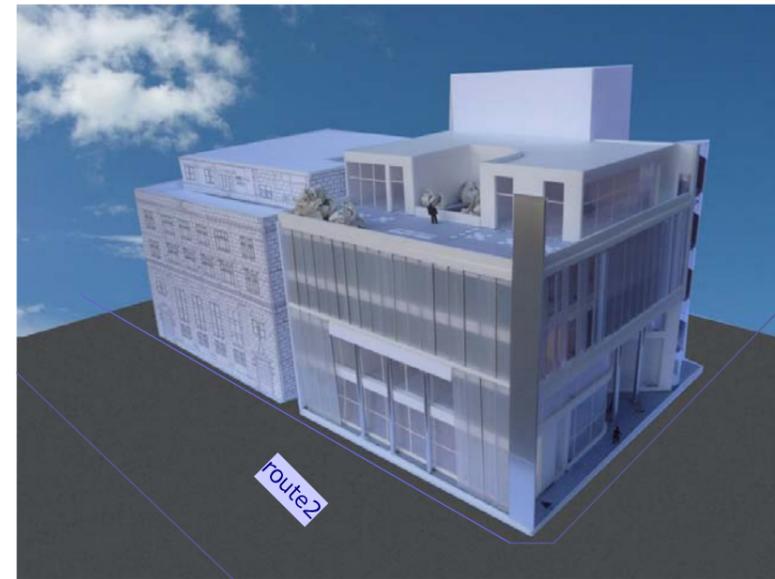


section

s c 1 : 200



south model photo (facing route 2)



east model photo



south model photo